

鎌田義孝 監督作品

金子清文 菜葉菜 佐野弘樹

イトウハルヒ 新井田心咲 小林なるみ 清水祐貴子

竹江維子 菊地唯 秋山小百合 猿子香澄

片桐茂貴 山崎大昇 石川裕一 小林敏和

内藤正記 田中颯 山野久治

松浦祐也 川瀬陽太 足立正生

企画 鎌田義孝 井土紀州

脚本 加瀬仁美 鎌田義孝 脚本協力 中野太

音楽 斎藤ネコ

撮影 西村博光 撮影助手 末吉真

照明 大和久健 録音 島津未来介

メイク 佐々木ゆう 助監督 植田中 清水優

制作主任 中村邦子 制作応援 翁長穂花

音響効果 中村佳央 VFX 中村和樹

仕上げ 田巻源太 メイキング 康宇政

題字 赤松陽橋造

プロデューサー 坂口一直 浅野博貴

協力プロデューサー 村岡伸一郎

制作プロダクション シンチネスタルサーカスビクチャーズ

制作協力 ティー・アーティスト 風の色

制作 スタンス・カンパニー

製作 鎌田フィルム

宣伝 高木真寿美 宣伝美術 千葉健太郎

配給 鎌田フィルム 配給協力 ティー・アーティスト

2022 日本 1カラー 16mm DCP 115分 116分 117分
©2022 KAMADA FILM

tocka-movie.com



「タスカ」

死に方を決めるのは、

最後の自由か

「悲しみ苦しみは、人生の花だ」と、
かつて坂口安吾は書いた。

その「花」を奇を衒わずに、真正面から

あざやかに描き出した、特段のみごとさである。

人間らしい人間は、フィルムの中に居る、

ということである。

極私的ではあるが、文句なしの

年間ナンバーワンになるだろう、と思う。

友川カズキ (歌手)

青い光に照らされたこの悲喜劇を
笑える僕でありたいと思う。

原田隆司 (グラフィックデザイナー)

「殺してくれ」と頼まれたことはありますか？
あなたは、ヒトから



国境の町、根室——。ロシア人相手の中古電器店を営むその男（章二）には、「死にたい」理由があった。自死ではなく「殺されたい」と願う男は、シンガーの夢を諦め、生きる意味を失った女（早紀）と、先の見えない生活に疲れていた廃品回収業の青年（幸人）と出会う。男の事情を知った二人は、希望を叶えようと計画するのだが——。

本作は、死を決意した男が、自分を殺してくれる人を探す彷徨の旅を描く人間ドラマ。

三人はそれぞれの過去を見つめながら、男の死に向き合っていく。男は望みを叶えられるのか？ 日常と非日常の間で翻弄される人間の運命の残酷さ、滑稽さ、切なさ、そして生のためのささやかな希望を感じさせる骨太な映画が誕生した。

監督は、『YUMENO ユメノ』以来、17年ぶりに長編映画に挑んだ、鎌田義孝（北海道名寄市出身、滝川市育ち）。出演は、金子清文、菜葉菜、佐野弘樹ほか、松浦祐也、川瀬陽太、足立正生など。音楽は、ヴァイオリニストの斎藤ネコが担当。撮影は、西村博光。16ミリフィルムカメラ（ARRIFLEX SR3）で、根室、釧路、室蘭の撮影を敢行、音声はあえてモノラルで仕上げている。

TOCKA（タスカ）とは……ロシア語で憂鬱、憂愁、絶望、などを意味し、その反意として、郷愁、憧れ、未だ見ぬものへの魂の探求、などの解釈があります。

Director's Message

企画を考え始めたのは2006年頃。きっかけは二つの事件だった。一つは東京都中央区の中古パソコン販売会社の社長が、ネットで出会った少年に自らの殺害を託すが、未遂に終わった嘱託殺人事件。もう一つ、同じ頃、韓国で起きた同様の事件。依頼したサラリーマンは、青年に殺害され目的を果たした——。この紙一重の差は何なのか？ 「嘱託殺人」とは、“本人の意志を受けて、他者がその人を殺すこと” = “人間の命を最後に自由にする”こと。その是非に自分は答えを出せなかった。だから撮りたかった。

今、世界が長寿社会へ進む中、血縁の無い者同志が、命の終わりを考えることは非常に重要なことだと思う。俺もおっさんだ。友も親父も死んだ。そして2022年、ゴダールが“自殺幫助で死んだ”という事実が、突き刺さる。私が生まれ育った北海道はアジアの辺境地。ロシア、中国、アメリカ、日本に翻弄され続けている特殊なエリアだ。ここから世界に発信したい。映画「TOCKA（タスカ）」が、一人でも多くの人の心に届きますよう願っています。

監督 鎌田義孝



TOCKA
「タスカ」
tocka-movie.com

北海道、国境の町。優しい殺人者たちの物語……………

12月9日(土)～15日(金)

12月9日(土) 鎌田義孝監督：舞台挨拶
(詳しい時間は後日発表)

近日公開

「ロスト・キング〜」 「愛にイナズマ」 (11/18～) 「火の鳥エデンの花」 (11/25～) 「私がやりました」 「限界境界線」 (12/2～) 「アールト」 「理想郷」 (12/9～) 「キャロル・キングホームアゲイン〜」 (12/16～) 「駒田蒸留所へようこそ」 (12/23～) 「アメリカ」 「バッド・ティ・ドライブ」 (12/30～)

同時公開：劇場初公開作品：「蘭島行 RANAHIMA BOUND」(小樽ロケ作品)
2023年 1時間30分(予定) *主演 / 木村智貴 輝有子 足立智充 竹江綾子(札幌在住)
兄・佐々木芳夫(木村)は、弟・悟史(足立)から母・美智子(竹江)の自殺未遂の一報を受け、小樽に緊急帰省する。芳夫は母親を安心させるため偽の嫁(輝)を連れて母と対面、弟悟史と3人で数日過ごす。それぞれの日常を振り返り、それぞれが再生のきっかけを描くヒューマンドラマ。

上映時間は劇場にお問い合わせください。

CINEMA TAURUS

シネマ・トールス
(中央ポウル1F)

TEL 0144-37-8182